



# かわごえ 議会だより



川越市マスコットキャラクターときも

産業観光館（小江戸蔵里） 昭和蔵の利き酒処



令和元年  
第5回定例会

## 川越市産業観光館の指定管理者の指定を可決 台風第19号の災害復旧支援に係る一般会計補正予算を可決

### 定例会の経過

<12月>

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 2日 請願1件採決 市政報告<br>議案19件上程 | 13日 一般質問 議案2件上程       |
| 5日 議案1件採決 議案質疑            | 16日 4 常任委員会           |
| 10日 一般質問                  | 18日 特別委員会             |
| 11日 一般質問                  | 24日 議案20件 意見書2件<br>採決 |
| 12日 一般質問                  |                       |

### 目次

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 市長提出議案 .....  | (2)       |
| 議決結果一覧表 ..... | (3)       |
| 議案質疑 .....    | (4)~(7)   |
| 討 論 .....     | (7)       |
| 一般質問 .....    | (8)~(11)  |
| 市政報告 .....    | (12)~(14) |
| 議会情報 .....    | (14)~(16) |
| 議場コンサート ..... | (16)      |

市長提出議案

市営住宅条例の一部改正

○改正の趣旨

民法の一部改正により、公営住宅制度に関する規定が見直されたため、川越市市営住宅条例の一部を改正しようとするものです。

○改正の内容

- (1)入居に際して連帯保証人を確保する要件を廃止
- (2)入居に際して緊急時の対応等の役割を担う緊急連絡人の届け出を求める
- (3)入居者が家賃を納付しない場合、敷金を未納の家賃の弁済に充てる
- (4)修繕に要する費用の負担に係る規定の整備
- (5)不正入居により市営住宅の明け渡し請求を受けた者に対する請求額の算定に利用する利息の割合を改める
- (6)引用条項に係る規定の整理

○施行期日

令和2年4月1日としようとするものです。



21件の市長提出議案を審議しました。各議案への質疑については、4～6ページを、討論は、7ページをご覧ください。採決の結果は3ページの議決結果一覧表をご覧ください。

行政財産使用料条例の一部改正

○改正の趣旨

川越市役所南側来庁者用駐車場および川越市役所北側来庁者用駐車場の休日等における使用料の額を改定するため、川越市行政財産の使用料に関する条例の一部を改正しようとするものです。

○改正の内容

自動車1台当たりの使用料の額について、次に掲げる使用区分に応じて規定しようとするものです。

- (1)使用時間が30分以内の場合
- (2)昼間における使用時間が30分を超え1時間以内の場合
- (3)昼間における使用時間が1時間を超える場合
- (4)夜間における使用時間が30分を超え1時間以内の場合
- (5)夜間における使用時間が1時間を超える場合

○施行期日

令和2年4月1日としようとするものです。

文化芸術振興・市民活動拠点施設の指定管理者の指定

○公の施設の名称

川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設（ウエスタ川越）

○指定管理者として指定するもの

NeCS T

○指定の期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

子育て安心施設新築工事請負契約

○工事名

子育て安心施設新築工事

○工事場所

川越市中原町2丁目1番地9ほか

○延べ床面積

1,822.76㎡

○構造

鉄骨造5階建

○契約の方法

一般競争入札

○契約の金額

511,500,000円

○契約の相手方

初雁・川木特定建設工事共同企業体

○工期

本契約締結の日から令和3年2月26日まで

○施設の概要

- 1階部分 事務室、休憩室等
- 2階部分 保育室、多目的室等
- 3階部分 プレイルーム、相談室等
- 4階部分 事務室、相談室、多目的室等
- 5階部分 共用活動室、共用会議室、相談室等



# 一般会計補正予算 (第4・5・6号)

補正予算額 第4号 2億1836万5千円

第5号 6億7400万5千円

第6号 2億6253万円

(補正後予算額 1148億1066万6千円)

### 【主な内容】

#### 第4号【台風第19号関連】

○災害援護資金の貸し付け

○住宅応急修理の実施

#### 第5号

○川越駅西口市有地前の乗降場整備に係る工事請負費

○指定喫煙場所分煙対策工事 (債務負担行為)

○江川流域都市下水路応急排水ポンプ等設置管理業務委託 (債務負担行為)

※「債務負担行為」とは、次年度以降の支出について、あらかじめその内容を予算の一部として定めておくものです。

#### 第6号【台風第19号関連】

○排水ポンプ車の追加導入

○中小企業災害復旧資金融資利子補助

○被災した介護老人福祉施設の入所者の受け入れに係る補助

○損壊家屋の解体処分

○農業災害対策補助

## 議案議決結果一覧表

### ●全員一致で可決した議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案118	令和元年度川越市一般会計補正予算(第4号)	議案117	子育て安心施設新築工事請負契約
議案105	川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会条例を廃止する条例	議案119	令和元年度川越市一般会計補正予算(第5号)
議案106	川越市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	議案120	令和元年度川越市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案107	川越市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	議案121	令和元年度川越市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)
議案108	川越市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	議案122	令和元年度川越市水道事業会計補正予算(第1号)
議案109	川越市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	議案123	令和元年度川越市公共下水道事業会計補正予算(第1号)
議案111	川越市行政財産の使用料に関する条例の一部を改正する条例	議案124	令和元年度川越市一般会計補正予算(第6号)
議案113	川越市市営住宅条例の一部を改正する条例	議案125	令和元年度川越市公共下水道事業会計補正予算(第2号)
議案114	川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設の指定管理者の指定	意見書1	障害者支援施設の大規模災害時における避難先の確保と施設再建・移転にかかる公的支援を求める意見書
議案115	川越市産業観光館の指定管理者の指定	意見書2	沖縄県民の気持ちに寄り添うことを求める意見書
議案116	川越地区消防組合規約の変更		

\*議長は採決に加わっておりません

\*欠席…1人

### ●賛否が分かれた議案

○……賛成 ×……反対 △……退席

議案番号	議案名	議決結果	会派等の賛否									
			自由民主党	公明党	日本共産党	清令会	出雲ライオンズ	政晴会	無会派			
			11人	7人	5人	3人	3人	3人	無所属	無所属	無所属	無所属
請願2	辺野古基地建設を中止し、普天間基地を即時無条件返還し、沖縄県の民意を尊重することを国に求める請願書	不採択	×	×	○	×	○	※1	○	×	×	×
議案110	川越市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案112	川越市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

\*議長は採決に加わっておりません

\*欠席…1人

※1…賛成1人、反対2人

### 会派変更のお知らせ

11月25日、川目武彦議員が自由民主党川越市議団から退会し、無所属議員として活動することになりました。

### 本会議における

## 議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ18名の議員が質疑を行いました。市が提出した議案の内容、提案の理由等について、疑問点や不明な点を明らかにするためにを行います。

こちらには、それぞれの議案に対する質疑の一部を要約し、掲載しています。

### 議案第118号

## 令和元年度一般会計補正予算(第4号)

【日本共産党】

### 円災害援護資金貸付制度の対象者を伺う。

借付対象者は、療養に要する期間が1カ月以上の世帯主の負傷、住居の半壊以上の被害または家財の3分の1以上の損害のいずれかの被害を受けた世帯主である。

### 円災害援護資金の貸付限度額を伺う。

借付限度額は世帯主の負傷のみまたは家財の3分の1以上の被害のみで150万円、住居の半壊のみで170万円、住居の全壊のみで250万円、

住居全体の滅失または流失で350万円等である。

### 円住宅応急修理にはどのようなものがあるのか。

円住宅応急修理は、準半壊の住家で1世帯当たり30万円以内、半壊または大規模半壊の住家で、1世帯当たり59万5千円以内の必要最小限の修理を行うものである。



### 議案第105号

## まちひとしごと創生総合戦略審議会条例の廃止条例

【日本共産党】

### 円まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく具体的な成果は。

円主なものあげると地域のしごと総合ポータルサイトを川越商工会議所と構築、運営し、現在登録企業数が75社となった。

若者を呼び込む縁結び事業で若者が浴衣や着物で散策を楽しんでいる。また外国人観光客の割合が、30年度で目標値1・9%に対し3・8%となった。

### 円今後の組織体制はどのようなになるか。

円川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略を所管する地域創生課は、総合戦略事業の企画、事業化の支援等を行っていく。また、川越市まち・ひと・しごと創生本部は、引き続き事業に係る推進、効果検証や次期戦略事業検討に当たり、外部有識者からも意見等をもらう場として設置していく。

### 議案第109号

## 指定通所支援事業等の基準等条例

【公明党】

### 円事業者に対する非常災害対策、衛生管理等、協力医療機関、虐待等の禁止などの項目について、

円から市に事務および権限が移譲されることにより、市としての関わりに変化はあるのか。

円権限の移譲により、指定等の事務だけでなく、

指導・監督の権限についても併せて移譲されることとなったため、新たに、市が事業者の指導・監督を行うこととなる。そのため、指定申請時や実地指導等の機会を捉えて、非常災害対策、衛生管理等、協力医療機関、虐待等の禁止などの状況につ

いて確認することとなる。

### 議案第111号

## 行政財産使用料条例の一部改正

【清令会】【無所属】【日本共産党】

### 円本件議案は市庁舎南北駐車場料金の改定である。

市の総合交通戦略では中心市街地における交通渋滞の緩和とあるが、現状では市内への車両の流入は多い。市庁舎駐車場の有料利用は中心市街地への車両の流入を促進することにもつながる恐れがあるが、観光客による車両対策をどのように考えているのか。

円市庁舎南北駐車場の有料利用については、中心市街地への車両の流入につながる懸念があるが、その一方で、時の鐘や蔵造りの町並みなど、観光客が特に集中する地域への車両の流入を抑制し、観光エリアにおける交通渋滞の緩和に寄与しているものと考えられる。

円市庁舎南北駐車場の有

人の需要に見合っているのか伺う。

円休日、市庁舎駐車場への入庫待ち車両が発生することから、一時的に需要が供給を上回る状態があると認識している。

円歩行者の安全確保、車両の整理などが必要なことから、警備員を配置して対応している。

円今回の料金改定では、市役所近隣の民間駐車場とのかい離解消を理由としているが、今後も見直しを行うのか伺う。

円「使用料・手数料設定の基本方針」では、3年をめどに定期的に検証し、社会経済状況の変化に対応した使用料・手数料とするとしており、民間駐車場の動向に留意し、対応していきたい。

円市庁舎駐車場の供給は、自動車で川越観光に来た

.....

**問休日**に駐車場を利用した来庁者への対応は。

【答】土曜開庁の際は、窓口にて市役所利用者であることが分かる証明書を発行し、使用料を免除して

おり、土曜開庁日以外、届け出に要した時間に

応じて使用料が免除となるよう対応している。

**問料金**改定で見込む増収1900万円の使途は。

【答】駐車場の維持管理や観

**議案第112号**

**都市公園条例の一部改正**

【日本共産党】

**問ピコアの建設運営に市が支出してきた金額は。**

【答】平成30年度までの総支出額は約38億2100万円である。なお、事業者は利用料金収入の一部、約4900万円を市へ還元している。

**問ピコアの経営状況は。**

【答】事業者の事業報告書では、平成30年度はサービス購入料と利用料収入の合計約3億8千万円の売り上げと、合計約1700万円の当期純利益が計

**議案第113号**

**市営住宅条例の一部改正**

【公明党「無所属」政策フォーラム】

**問緊急連絡人へ変更することによって、どのような影響があるのか伺う。**

【答】入居を希望する市民は、連帯保証人の確保が難しい状況が多く見受けられたため、緊急連絡人の届け出制度にすることによって、市営住宅への応募がしやすくなり、入居促進へつながるものと考え

る。一方、管理する市は、家賃の滞納に対する債務の保証がなくなり、一般的に滞納額が増加する恐れがある。このため、今後の滞納整理は、早期に入居者の状況を把握し、滞納額を増やささないなどの取り組みを行う。

**問5分の割合から、法定利率に変更した理由を伺う。**

【答】今回の民法改正により、今後は3年を1期として、1期ごとに見直しされる変動利率となったため条例を変更するものである。

**問緊急連絡人への変更を現在の入居者にどのように説明するのか伺う。**

【答】条例施行後以降に、他の通知文書と合わせて、緊急連絡人の制度になることを周知する。

**問退居時の敷金や修繕費用の負担について伺う。**

【答】これまでと同様に、家賃滞納等がある場合は敷金から控除して還付し、経年劣化による内装等の修繕費用は、市の負担と

し入居者に求めている。ケースは、平成30年度第2回募集で2件、令和元年度第1回募集で3件ある。

**問市の債権で他に連帯保証人を求めている債権は、現在保有している債権では、他に母子父子寡婦福祉資金と育英資金貸付金がある。**

**問今回の改正で入居基準は変わるか。**

【答】入居基準が変更となることはなく、従来と同様である。

**議案第114号**

**文化芸術振興・市民活動拠点施設の指定管理者の指定**

【無所属「日本共産党」】

**問指定管理者候補者の選定理由について伺う。**

【答】光熱水費や修繕費等の抑制が期待できる、危機管理対応が優れている、地域全体のにぎわい創出を目指した取り組みが期待できる、地域雇用・地域人材育成の促進が積極的である、利便性向上に関する具体的な提案である、という内容が理由で、主に維持管理・運営業務

が評価のポイントである。今後5年間、市は指定管理者に何を期待するのか伺う。

【答】新たな価値を創造・発信する施設を目指すとの方針で管理運営する旨提案されている。これまでの5年間の経験を生かし、施設の設置目的を踏まえ、効果的・効率的な市民・利用者サービスの向上に

（次ページへ）

不断なく取り組み、地域の活性化につながる施設となることを期待する。

.....

**園ウエスタ川越の施設利用で金銭のやり取りは禁止だが、市民の福祉増進や文化活動には一部を認める検討が必要では。**

**園線引きが難しいが、今後の取り扱いについて指定管理者と協議していく。**  
**園仮に憲法違反をしている事業者は、委託事業者として適切と考えるか。**

**園仮にそのようなことが**

**議案第1115号**

**産業観光館の指定管理者の指定**

【日本共産党】

**園平成29年度の昭和蔵改修に伴う利用者の変化は。**

**園市外からの利用者の割合や初めて訪れた人が増加するなど、新たな観光客の獲得につながり、また、明治蔵、大正蔵の利用者も増加するなど、滞在時間の延長につながっていると考ええる。**

**園運営上の課題は何か。**

**園観光バスの誘致などの**

確認された場合、再発防止を強く求め、コンプライアンス徹底を指導する。

**園税金が100億円以上使われているため、市民の立場に立った管理運営となるよう市が責任を持って指導監督すべきでは。**

**園事業者が持つ管理運営の経験や発想を生かして、効率的・効果的な施設運営、施設整備・設置目的の達成とともに、必要があれば指導・助言を行い、市民・利用者に一層喜ばれる施設を目指す。**

取り組みにより来場者の増加に努めながらも、利用人数、売上高ともに、

おおむね横ばいで推移していることから、さらなる魅力の向上が挙げられると考える。

**園周辺のまちづくりに産業観光館をどう生かすか。**

**園立地条件や建物が有する特性を効果的に活用し、中心市街地における観光**

**議案第117号**

**子育て安心施設新築工事請負契約**

【公明党】無所属

**園子育て安心施設を整備するに至った経緯を伺う。**

**園川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略に、子育てしやすい環境を整えるプロジェクトとして位置付けられており、今年度から施設整備工事に着手しようとするものである。**

**園子育て安心施設に導入する機能はどのようなものを予定しているのか伺う。**

**園保育機能、子育て支援施設、乳幼児相談や産前・産後相談の場、健康教育や健康相談の場、地域包括支援センターの整備を予定している。**

**園工事費に見合う施設の活用について、どのように考えているのか伺う。**

**園市民にとって利用しやすく、子育て世代の多様なニーズに応える施設で**

客の回遊の促進と、近隣商店街を含めた地域のに

ぎわいの向上に寄与する施設としていきたい。

**園用地の選定から取得に至る経緯について伺う。**

**園子育て安心施設整備事業は、公共交通機関を利用する子育て世代の利便性を高めることを目的としていることから、川越市土地開発公社が本川越駅周辺に保有していた本件用地を選定し、令和元年9月4日に土地売買契約を締結、令和元年11月1日に用地の引き渡しを受けた。**

**園用地取得費はいくらか。**

**園7億4792万1411円である。**

**園工事実施に当たり安全への対策は？**

**園敷地周囲に仮囲いを設置し、北側主要道路の出入口部には、シートゲート等を設置することで、**

工事範囲を明確に区分す配置し、歩行者や自転車る。また、交通誘導員をの安全確保を図る。

**議案第119号**

**令和元年度一般会計補正予算(第5号)**

【日本共産党】

**園川越駅西口市有地の乗降場整備事業の内容は。**

**園川越駅西口市有地前の川越駅南大塚線の歩道を切り欠き、西口周辺で多くが行き交う送迎バス等バス3台分の乗降を可能とする乗降場を整備する。**

**園指定喫煙場所分煙対策工事の内容を伺う。**

**園現在の川越駅等の指定喫煙場所3カ所において、分煙対策として駅前等での施工実績がある、パー**

テーシヨン型のパネル設置を考えている。

**園寺尾地域から水害をなくすための抜本的対策について市長の見解を伺う。**

**園短期的ハード対策とソフト対策の充実を図るとともに、今後の施設整備に関する検討業務を進めている。再度災害を防ぐための内水対策は、関係機関との協議等を踏まえ、検討していきたいと考えている。**

**議案第124号**

**令和元年度一般会計補正予算(第6号)**

【公明党】(日本共産党)

**園川越キングス・ガーデンの浸水により被災した入所者を受け入れた施設の事業者には、どのような補助がされるのか。**

**園11月末までの介護報酬は、厚生労働省通知にある一時的緊急避難を準用**

し、川越キングス・ガーデンが請求し受け入れ先施設に支払うこととした。一方で、受け入れ先施設の介護報酬が異なる場合、マイナス影響を受ける施設が発生することが判明した。このことから、受

け入れ先施設ごとに介護報酬を算出し、川越キングス・ガーデンの介護報酬との差分を受け入れ先施設に補助する。

**閩災害廃棄物の処理計画の策定は。**

閩川越市地域防災計画などとの整合を図りながら、全庁的な検討を行い、早期に策定したいと考えている。

**閩被災した農業ハウス等はどれくらいあるのか。**

閩台風第15号と台風第19号を合わせて、農業ハウスが農業者11名で16棟、農機具が農業者3名で23台の被害を確認している。

**閩新河岸駅エスカレーター**

**ーは構造変更を予定しているのか。**

閩現在、エスカレーターの利用再開に向けて修繕工事の準備を進めている。再び、地下ピットが水没しないよう雨水の吹き込み防止や排水機能の改善について併せて検討を行い、対策を講じる。

**閩河川災害復旧の事業スケジュールは。**

閩天の川排水機場の除塵機について本復旧工事を行う。事業スケジュールは、令和元年12月に事業費を決定する災害査定が実施され、出水期の始まる6月を目途に復旧できるように取り組んでいく。

**討 論**

今定例会では、次のような討論が行われました。

**請願第2号**

**賛 成**

**【無所属】**  
請願書に署名された5

492人の思いに賛同し、賛成の立場から討論する。沖縄県緑ヶ丘保育園に米軍ヘリコプターからの落下物があり、子どもたちの安全を強く望むものである。日本全体で環境保全に取り組まなければならず、また、基地建設地盤は軟弱で、安全性も心配される。

国と地方は対等であり、市民の声や地方自治体の判断が尊重されるべきである。

**賛 成**

**【日本共産党】**

辺野古新基地は住民過半数の同意を得ずに建設が強行されており、憲法第95条に反している。また、県民投票、県知事選挙、国政選挙のすべてで反対派が多数を占めたが、国はそれらを無視し、知事の辺野古埋め立て承認撤回をも効力停止としたことは、地方分権の趣旨から逸脱している。

大浦湾の埋め立てによる環境破壊は多数の生物の絶滅、地場産業の衰退を招く。海底の活断層と軟弱地盤で総工費が肥大するのを見越できない。

基地と日米地位協定により人権が侵害され生命が脅かされている沖縄の事態に、川越市民が地方自治と民主主義を守る立場で自らの問題として請願をあげる意義は大きい。

**2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会が市長に対し要望を行いました**

2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会は、これまでに、国・県などの動向、機運醸成事業、おもてなし事業、ホストタウン交流事業、事前キャンプの支援や会場周辺の基盤整備などについて、調査を進めてきました。

また、オリンピックに向けてどのような支援が必要か調査するため、公益社団法人川越青年会議所や、川越市のホストタウン相手国となるタイ王国の空手代表チームや在東京タイ王国大使館など関係団体との意見交換を実施するなど、多岐にわたる調査を行ってきました。

委員会として意見を集約した結果、オリンピック開催に向けて、令和元年12月18日、市長に次の事項について要望しました。

- 1 大会全般について
- 2 機運醸成事業について
- 3 おもてなし事業について
- 4 市内装飾について

- 5 会場への輸送について
- 6 ホストタウン交流事業について
- 7 東京2020組織委員会等への要望について

その後、市長、副市長、教育長、各委員で、オリンピック大会に向けた市の取り組み等について、意見交換を行いました。



市長に要望書を提出

※要望の内容は、今定例会の会議録（2月下旬頃から、川越市議会ホームページまたは図書館等で）よりご覧いただけます。

# 市政に関する一般質問

今定例会では、23名の議員が一般質問を行いました。

まちづくりや暮らしに関する制度など、市の行政・財政全般にわたって、事業の現在の状況、今後の方針等について質問をし、必要に応じて市に對し意見や施策の提案をします。質問をした議員が、その質問の中から一問を選び、掲載しています。



会派名 議員氏名  
**一般質問の表題**

質問の番順

問 (質問の要約)

答 答弁者

(答弁の要約)

通告事項の要約



自由民主党 牛窪 喜史 1  
**避難情報等のホームページ**

問さまざまな情報を掲載する市のホームページにおいて、避難情報などが分かりやすく提供できるホームページの作成について伺う。

答 分かりやすく閲覧するために、トップページ自体を災害関連情報に特化したページに切り替えてできるよう、切り替えるタイミングを含めて検討を進めていく。

答 広報報監 これまで、台風による災害の恐れがある場合には、市ホームページのトップページに災害関連情報を掲載したページを公開しているが、より市民が災害の情報を

台風第19号の諸課題



公明党 田畑 たき子 2  
**福祉仮設住宅について**

問 台風第19号で被災された社会福祉施設等の人たちのための福祉仮設住宅についての進捗状況を伺う。

答 なお、応急仮設住宅の供与は、災害救助法により都道府県が実施主体であることから、埼玉県知事宛て福祉仮設住宅の整備に関する要望をした。

答 福祉部長 福祉仮設住宅は、社会福祉施設において高齢者等の日常生活上、特別な配慮を必要とする入所者が、被災前に近い形で一定期間、安心して生活できる住家として必要であると考える。

答 その上で、福祉仮設住宅の適用地を検討するとともに、社会福祉法人および県ならびに国と連携し、実現に向け調整を図っているところである。

川越市の防災対策



日本共産党 柿田 有一 3  
**大規模な避難受入れ態勢を**

問 福祉施設など多くの要支援者が避難する場合に備え、大規模な受け入れ態勢を整えることが必要ではないか。

答 入れ態勢を整えておくことについては、検討しなければならぬ課題と考えているので、関係部局と協議していく。

答 危機管理監 川越地域防災計画において、社会福祉施設に対して、災害時に大規模な受け入れ態勢を整えておくといったような協議や指導に関する記載はない。しかし、大規模な受け

台風第19号の対応



政晴会 川口 啓介 4  
**一時避難は近距離に確保を**

問 指定避難所・指定緊急避難所まで遠い市民がいる。民間施設も含め、より身近に一時的に避難できる場所の確保が必要と考えるがどうか。

答 指定避難所等以外の避難できる場所の確保については、今後の避難の在り方を協議する中で検討していきたいと考えている。

答 危機管理監 今回の台風対応では、浸水想定区域外の避難所へ避難するなど、地域によっては避難所への移動距離が長くなった状況があった。より身近で一時的に退

答 水害対応および対策



政策フォーラム 高橋 剛 5  
**堤防かさ上げの早期実現を**

問 J R川越線荒川橋りよの架け替えと未整備の堤防かさ上げは、整備計画期間のできるだけ早期の完成が望まれるが市長はどう対応するか。

答 (大臣管理区間)に位置付けられており、現在、事業中の荒川堤防のかさ上げおよびJ R川越線橋りよの架け替えを着実に進められるよう、国との連携や情報共有等を図り、暫定かさ上げを要望するとともに、事業の早期完成に向けて積極的に働き掛ける。

答 市長 J R川越線橋りよ付近の荒川堤防は、橋りよおよび堤防の高さが低いため、早急な治水対策が必要であると認識している。市としては「荒川水系河川整備計画

水害対策





清令会 小野澤 康弘 6  
**大谷川周辺の緊急課題**

**問**大谷川雨水ポンプ場の排水能力増強計画があるようだが、今回の台風第19号での堤防決壊を受け、越辺川へ排水困難な場合の対策はどう考えるか。

**答**建設部長 大谷川雨水ポンプ場は、今回の浸水被害の状況等について情報共有を図りながら、排水能力の向上に向けて協議を継続している。

大谷川雨水ポンプ場か

**問**多様化する災害と防災



無所属 伊藤 正子 7  
**台風に備える**

**問**台風第19号での避難者は、これまでにない規模となったが、福祉施設からの避難者が市民センターから避難所へ移動した理由を伺う。

**答**市民部長 今回の台風では市民センターが自主避難所となっていたが、あくまで一時避難所として認識していたことなどから、市から事業者側へ意向を確認した上で、施

**問**学校の諸課題を考える  
**問**活動しやすい市民協働



自由民主党 中野 敏浩 8  
**特別支援学級の全校設置**

**問**クラスにうまく対応できない児童の学びの場の一つとして特別支援学級があるが、全校設置に向けた予定を伺いたい。

**答**学校教育部長 本市では、国や県の動向を踏まえ、特別支援学級設置計画を作成している。本計画では、特別支援学級が設置されていない小・中学校に、それぞれ毎年2校程度ずつ新設す

る予定である。

**問**児童の教育環境



自由民主党 村山 博紀 9  
**小中学校の防犯カメラ設置**

**問**学校からの要望で小学校2校、中学校9校に防犯カメラが設置された経緯があるが、市の施策として今後の学校への計画的な設置予定はあるのか。

**答**教育総務部長 小中学校への防犯カメラの計画的な設置予定はない。しかし、校内への不審者等の侵入や夜間の騒音など具体的な問題が発生している学校から、防犯

**問**学校の安全策・防犯力  
**問**川越のデマンド型交通



自由民主党 須賀 昭夫 10  
**全ての囃子連に実演の場を**

**問**囃子の保存と継承、地域活性化に向け、川越まつりで実演を希望する全ての団体が参加できるように、櫓など披露の場を増やす対応はできないか。

**答**産業観光部長 囃子を披露する機会を増やすことは、経験を積むことによる技術の向上やモチベーションの高揚につながるものと考える。例えば、市で所有する猩猩の山車

において、囃子連が乗る時間帯をアレンジし、乗る回数を増やし、多くの囃子連に乗ってもらえるようにすることや、観光客が集中する中央通りだけでなく、櫓を設置する用地が確保できた場合には、居囃子の櫓を設置し、披露する機会を増やせるよう検討する。

**問**伝統芸能の保存と継承



無所属 小林 薫 11  
**退職金を台風被災者支援に**

**問**3期12年、退職金合計7千万円を川越市に寄附し、台風第19号被災者支援等に使用したらいかがか。

**答**市長 被災者、あるいは困っている人のために寄附をするという崇高な考えを持っているのであれば、それはぜひ自身に実行してもらいたいと思う。

**問**川越まつり  
**問**市長の政治姿勢





公明党 嶋田弘二 12  
**おくやみ窓口設置の課題は**

**問**遺族が行うさまざまな手続きをワンストップ化し、時間の短縮を図ることとできる総合窓口を設置するための課題について伺う。

**答**市民部長 さまざまな手続きで来庁される市民が多く、窓口および待合スペースが狭あい化していることから、スペースの確保について課題がある。



また、亡くなった人の状況により必要となる手続きが多岐に及ぶことも想定されることから、広範な手続きを円滑に実施するための手法について検討する必要があると考える。

**問**おくやみの窓口総合化  
**問**自立相談支援センター



公明党 中村文明 13  
**平和記念式典派遣を毎年**

**問**広島平和記念式典中学校生派遣事業を隔年ではなく毎年実施することについて、現在までにどのような検討がされているのか。

**答**総務部長 平和記念式典派遣事業は、交互に広島市と長崎市へ派遣しているが、隔年実施により、広島平和記念式典に参列できない学年が生じていた。このことから、今後

の事業の在り方を検討し、学年間において切れ目なく、継続したより効果的な事業の推進を図るため、広島市への派遣を来年度以降、毎年実施することとした。なお、周年記念となる節目の年などには、長崎市への派遣も機会を捉え、今後も実施する予定である。  
**問**平和施策  
**問**川越市の観光行政



政晴会 樋口直喜 14  
**まずは地域活動支援充実を**

**問**市は本庁管内でも地域会議を進めたいようだが、地域支援担当職員の配置および活動拠点が示されないままでは負担が増え、理解は得られないのでは。

**答**市民部長 地域支援担当職員の配置および活動拠点を明確に示せないことが、本庁管内の地域会議の設立が進まない原因の一つだと認識しているので、地域会議への理解



を得るためにも、地域支援担当職員の配置や活動拠点について早急に検討していきたいと考えている。

**問**本庁管内の地域会議  
**問**総合計画後期基本計画



政晴会 明ケ戸 亮 太 15  
**児童虐待ゼロ次予防として**

**問**全国的にも増加傾向にある児童虐待に対応するために、子ども家庭総合支援拠点が必要と考えるが、市長の考えを伺いたい。

**答**市長 子ども家庭総合支援拠点は、平成28年の児童福祉法改正により市町村は整備に努めるとされたものであり、厚生労働省は2022年度までに全市町村に設置をする

という目標を打ち出している。子どもとその家庭、妊産婦等に対する相談対応などや、要支援児童および要保護児童への支援などを総合的に支援していくことは、大変重要なことと認識しているので、設置について検討を進めていきたいと考えている。  
**問**児童虐待防止施策  
**問**夏休みの短縮



公明党 近藤芳宏 16  
**誰一人取り残さない社会を**

**問**SDGsは、2030年に向け世界が合意した「持続可能な開発目標」だが、本市がSDGsの取り組みを検討・実施するプロセスはどうか。

**答**総合政策部長 一般的なプロセスとしては、SDGsに対する理解の下で、自らの自治体を取り組む目的を明確にし、SDGsの推進体制を構築するとともに、地域の実

情に合わせた目標を設定して、計画的に実施していくものである。SDGsの考え方は、川越市総合計画に定めたまちづくりに対する考え方も重なる点と捉えており、こうしたプロセスを参考に、総合的かつ計画的に推進する必要があると考えている。

**問**自治体SDGsの取組  
**問**職員の人財育成・活用



公明党 小ノ澤 哲也 17  
**国の定期接種化の周知を!**

**問**口タウシルスワクチンが来年度10月より、やつと国の定期接種となる。さまざま課題もあり、医師会との協議を含め市民へ周知すべきと思うが?

**答**保健医療部長 定期接種化に向けて、市ホームページ、広報への掲載は実施する予定である。その他の周知方法として、個別通知や出生届出時の案内、委託医療機関

等からの周知等、さまざまな方法が考えられるので、今後、低コストかつより効果的な周知方法や案内文を、医師会との協議を含め、検討していく。なお、周知や案内の開始時期については、国の動向や法改正のタイミング等を注視し、検討していく。  
**問**予防接種事業



無所属 川目 武彦 18  
胃がん予防としての検査

**問**胃がん予防としてピロリ菌検査が有効だと考えられているが、なぜ川越市ではピロリ菌検査を行っていないのか。

**答**奨しないとされているので、ピロリ菌検査は、胃がん検診としては勧められていない状況である。ただし、今後の研究成果によって、将来的に判定を変更する可能性があるとされているので、国の動向を注視していきたいと考えている。

**答**保健医療部長 国立がん研究センターの有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン2014年度版によると、胃がんのヘリコバクターピロリ抗体検査については、対策型検診としての実施は推

**問**がん予防のピロリ検査



日本共産党 川口 知子 19  
サッカーグラウンド整備を

**問**スポーツ団体等からサッカー大会が開催できる場所が河川敷しかないという。今後、河川敷以外のグラウンド整備の考えについて伺う。

**答**河川敷グラウンドが台風などにより被害を受けると復旧までの期間、サッカーコートが不足する状況になることは認識している。今後可能な範囲で市民の要望に応えられるよう努めていきたいと考えている。

**答**都市計画部長 河川敷以外のサッカーコートは、川越運動公園や芳野台グラウンドがあり、スポーツ少年団をはじめとしたスポーツ関係の各種団体も利用している。一方で、

**問**安全に学べる学校施設  
**問**地域スポーツの振興



日本共産党 池浜 あけみ 20  
教職員のゆとりある働き方

**問**小学校の英語教科化や変形労働時間制導入を前に教職員は多忙を極めている。ゆとりある働き方を保障するために教育委員会はどう支援するのか。

**答**校業務全体を見直し、教職員の負担軽減や業務改善に取り組みとともに、教職員が子どもたちと向き合う業務に集中できるように支援していく。また、

**答**教育長 教職員のゆとりは、教職員自らの生活の質を豊かにし、人間性や創造性を高め、効果的な教育活動に結び付けていくものと考えている。教育委員会が主体となって学

**問**教職員の働き方  
**問**投票率向上の取り組み



日本共産党 今野 英子 21  
こども医療費18歳へ拡大を

**問**現在15歳までのこども医療費の助成対象を18歳まで拡大するべきだと考えるが、市長の見解を伺う。

**答**やかな成長のため、子育て支援を充実させるとともに、子どもを産み育てやすい社会をつくることは、本市の重要な施策の一つであるが、こども医療費の助成対象を充実することについては、市の財政状況や他の子育て支援施策等を勘案し、慎重に検討していきたい。

**答**市長 本市はこれまで、子どもの保健の向上と児童福祉の増進を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、こども医療費の支給対象年齢を拡大してきた。将来を担う子どもたちの健

**問**子育て施策の充実を  
**問**子どものSNS等影響



日本共産党 長田 雅基 22  
職員制度切替をスムーズに

**問**正規職員と会計年度任用職員となった学童保育指導員について、多忙な4月1日に保育に支障がないよう、制度のスムーズな切り替えは可能か。

**答**関係の構築が築けていない状態で、1年の中でも大変な時期であると認識している。スムーズな保育が行われるよう引き継ぎ期間を設けており、

**答**教育総務部長 4月1日は、学童保育指導員の異動があり新たな学童保育室での勤務となる。新1年生は、学童保育室での保育が初めての経験であり、子どもの特性や信

**問**学童保育事業の拡充を  
**問**楽しむスポーツ振興



清令会 矢部 節 23  
新野球場建設の条件は何か

**問**現時点で具体的な検討はしていないとのことであるが、想定としてはどのような新球場を造ろうと考えているのか。

**答**場等の付帯施設は、現初雁公園の大会時の運営状態を見ても、ある方が望ましいと考えられる。ナイター設備も、現初雁公園と同様に、市民に利用してもらうためには、必要と考えられる施設であると想定している。

**答**都市計画部長 今後具体的に検討していく場合の想定としては、グラウンドの規模や収容人員は、県内の他野球場や運営の内容等も考慮することになると考えられる。サブグラウンドや駐車

**問**市の優先すべき施策は  
**問**新野球場建設の条件は

市政報告

台風第19号への本市の対応等について

今定例会では、議案以外に市政の重要事項として、1件の報告がありました。

市政報告に対し、3名の議員が質疑を行いました。市政報告に対する質疑は、14ページをご覧ください。

市政報告の内容および市政報告に対する質疑については、インターネット録画放送（川越市議会ホームページから）または今定例会の会議録（2月下旬頃から、川越市議会ホームページまたは図書館等で）よりご覧ください。

○気象情報等

(1) 気象情報

10月11日に大雨注意報など各注意報が発表、その後、大雨警報、洪水警報、暴風警報が発表された。12日21時51分には、本市で初めて大雨特別警報が発表された。13日、0時40分に大雨特別警報、大雨警報、暴風警報、雷注意報が解除され、16時45分に強風注意報、21時1分に大雨注意報が解除された。洪水警報は継続して発表されていたが、17日19時2分に解除され、すべての気象警報等が解除となった。

(2) 洪水予報

① 荒川 熊谷水位観測所で、10月12日18時に最高水位が観測史上最高となる6・25mを観測するとともに、治水橋水位観測所では、13日5時に最高水位が観測史上最高となる13・08mを観測した。  
② 入間川 小ヶ谷水位観測所で、10月12日19時に最高水位が観測史上最高となる3・63mを観測するとともに、菅間水位観測所で、13日1時に最高水位が観測史上最高となる12・6mを観測した。

③ 小畔川 八幡橋水位観測所で、10月12日22時に最高水位4・21mを観測した。

○被害状況等（11月26日現在）

(1) 人的被害 3名

(2) 住家の浸水被害

・床上浸水 193件

・床下浸水 262件

※今後の調査・精査によって変動が見込まれる。

(3) 道路被害

・道路冠水による通行止め 44件

・道路冠水（通行止めなし） 6件

・倒木 3件

・木橋の流出 1件（17号橋（大字山田地内））

・道路損壊 1件

(4) 上下水道等被害

・水道施設損傷（水質末端監視局） 平塚新田地区

・下水道施設機能低下 砂地区ほか12地区（11地区解消済み）

・下水道施設等損傷 寺尾地区ほか7地区（仮復旧済）

(5) 河川被害

・越辺川堤防決壊

・新河岸川 豊橋付近溢水

・久保川 613号橋溢水

※その他

・天の川排水機場・浸水により除塵機の機能喪失

・鹿飼応急排水ポンプ・制御盤底部まで水位が上昇し、電源不通により停止（現在は使用可）

・古市場排水ポンプ場・電動部のチェーンが外れ、2号除塵機が故障

(6) 商工業（事業所）被害

・床上浸水 20件

・床下浸水 4件

・強風による屋根の一部損壊 3件

・倒木 2件

・商店街街路灯への被害 7商店街

（フラッグの破損6カ所、街路灯の傾き3カ所、ランプの故障6カ所）

・その他被害 7件（敷地内の冠水、重機の浸水等）

(7) 農業被害

・ビニールハウス 全壊5棟、ビニール破れ等10棟

・浸水被害 ブロッコリー110アール、小松菜4

アール、花き100㎡・1万5千ポット、キン

ギョソウ3400㎡、農機具トラクター等計23

台、井戸（揚水機制御盤）5機

(8) 社会福祉施設等被害

① 老人福祉施設等 床上浸水4件

川越キングス・ガーデン、特別養護老人ホーム陽

光園、仙波グループホームそよ風、ケアハウス主

の園

② 障害者支援施設等 床上浸水9件

初雁の家、潮寮、第2潮寮、しらこぼとの家、七

草の家、あかつき寮、やまびこ製作所、障害者相

談・地域支援センターけやき、ワークセンターけ

やき

(9) 公共施設被害

・公園 倒木 9件（伊佐沼公園ほか）

看板の折損 3件（御伊勢塚公園ほか）

河川敷グラウンド浸水により使用不可 10

カ所（寺山緑地ほか）

遊具圧壊 1件（伊佐沼公園）

初雁球場フェンス破損 1件

・学校 浸水 1件（寺尾中学校で床上浸水）

トイレの使用不可 1件（南古谷小学校）

施設設備の破損等 6件

倒木 11件（うち1件は、川越小学校で駐車していた車3台に被害あり）  
雨漏り 19件

- ・保育園 施設の一部破損 1件（川鶴保育園）
  - ・公民館 軒下ボード破損 1件（高階南公民館）
  - ・その他 新河岸駅西口エスカレーターの故障
- (10) 文化施設等被害 3件

○避難情報および避難所開設状況

洪水が想定される河川の流域、土砂災害警戒区域および寺尾地区の内水氾濫の災害リスクを想定し、避難対象地区を示した上で、27カ所の避難所を開設した。また台風が来る数日前から暴風を警戒し避難したいとの市民からの要望が多く寄せられたことから、市民センター等14カ所を自主避難所として開設した。

- ・避難所避難者数：最大避難者数合計4346名
- ・自主避難所避難者数：最大避難者数合計614名
- ・その他公共施設への避難者数（最大）  
高階南公民館：13名、月越小：1名、泉小：11名

○本市の対応等

(1)本市の対応

①活動体制

10月11日 17時 監視体制発令  
10月12日 7時 警戒体制発令（警戒対策本部設置）、特別監視班、現地調査班、避難所運営班出勤

10時 非常体制第1配備発令（災害対策本部設置）

10月29日 17時 非常体制第1配備解除（災害対策本部閉鎖）

11月12日 台風第19号被災者支援会議を設置

②災害対策本部会議等

10月12日 7時 第1回警戒対策本部会議

10時 第1回災害対策本部会議

10月29日 17時 第23回災害対策本部会議

※災害対策本部会議を計23回開催

(2)川越地区消防組合の主な対応

10月12日から13日、寺尾地区において現地調査班の排水ポンプの活動に合わせて、高階分署の部隊が出向し、合同で長時間にわたる排水活動を行う。

10月13日から14日、越辺川の決壊に伴い福祉施設や一般住宅からの救助活動を行う。※2日間の合計救出人員は267名。

(3)川越市水防団の主な対応

10月12日、水防団本部を消防局に設置し、堤防巡視および管内巡視を行う。

10月13日、越辺川堤防決壊の救助活動を支援。

※その他、市職員や消防職員と連携して可搬ポンプによる排水作業や土の積み作業、稲わらなどの障害物除去作業、越辺川堤防決壊に対する救助活動時の広報活動、通行止めに伴う交通整理、避難誘導等を実施。

(4)関係機関からの災害情報連絡員派遣

10月12日、13日 川越警察署、川越地区消防局

10月14日 川越地区消防局

10月15日以降 経済産業省、農林水産省、国土交通省関東地方整備局、埼玉県

から随時派遣される。

○他機関からの応援

(1)警察への機動隊の派遣要請

10月13日7時21分に越辺川決壊による要救助者の救助について、警察に対して機動隊の派遣を要請し、隊員54名が舟艇2艇による救助活動を実施。

(2)自衛隊への災害派遣要請

10月13日8時10分に越辺川決壊による要救助者の救助について、埼玉県を通じて自衛隊の災害派遣を要請し、隊員140名が舟艇7艇による救助活動を実施。

(3)国土交通省による排水ポンプ車の配備

江川流域都市下水路の樋門付近に配備

(4)家屋の被害認定調査

所沢市、彩の国災害派遣チームによる職員派遣（吉川市、八潮市、越谷市）

(5)物資の提供等

農林水産省、春日部市、香取市、埼玉県より支援

○義援金等（11月26日現在）

(1)義援金 募金額 2200万4211円

(2)災害支援寄附

①個人からの寄附 合計144件

251万5千円

②団体等からの寄附 合計6件 170万円

○災害救助法の適用について

(1)法適用日 10月12日

○被災者生活再建支援法の適用について

(1)法適用日 10月12日

(2)適用基準 被災者生活再建支援法施行令第1条

第3号

○国・県への要望について

国に越辺川の本格復旧や被災した福祉施設への支援、埼玉県に河川改修や被災者の支援などについて要望。

○被災者支援

浸水住宅排水処理費補助金の受け付け、税等の減免の申請書の送付、災害見舞金の支給等、全庁的に被災者支援に向けて取り組んでいく。

# 市政報告 台風第19号への本市の対応等

【政晴会】公明党【日本共産党】

園避難所となった名細中

学校では障害者用トイレがなく、障害者用トイレを必要とする人には名細市民センターに移動してもらうこととなったが、

名細市民センターには備蓄品がなかった。今後は全避難所に障害者用トイレを設置すべきと考え、市の考えを伺いたい。

園市では、現在23台の障害者用の組み立てトイレを保有しているが、そのうち指定避難所の備蓄品保管室に保管しているものは13台で、全ての指定避難所で備蓄している状況ではない。今後、今回の台風対応を踏まえ、避難の在り方を検討していく上で、各施設の位置付けや備蓄する物資についても検討していく。また、緊急時には国へ障害者用トイレをプッシュ型支援として要請するなど、柔軟に対応していきたい。

園寺尾地内では江川流域都市下水道整備やポンプ車の事前配置等万全を期したはずだが、なぜこれほどの被害に至ったのか。



舟艇による救助の様子

園樋門を全開しておくことが可能な状況が継続したため、閉操作していない。新河岸川の水位が高い状況が続いたことや、流域の降雨量が大きかったため、内水が滞留する状況となったと考える。

園寺尾地内の内水対策として雨水調節池の建設など抜本的な対策が必要と考えるが、現在の状況は、

平成30年8月の川越市台風第21号内水浸水検証委員会からの答申を踏まえ、現在、効果的および実現可能な施設整備などの事業計画に関する検討業務を進めている。引き続き、本市上下水道局やふじみ野市および県などの関係機関との調整を行っていく。

園民間事業所の生業の再建に向けた支援について伺う。

園生産設備等に大きな被害を受け、事業活動に支障が生じている事業所が早期に再建できるように、効果的な支援措置を講じていく。

園社会福祉施設等災害復旧費補助金を活用し、事業者負担の軽減を図る。法人の意向を確かめながら、国等の関係機関と協議し、法人が一日も早く再建できるよう支援していく。

## 議 会 情 報

### 議員倫理条例策定会議 災害対策支援会議

議員倫理条例策定会議

および災害対策支援会議の委員が、9月30日、吉野郁恵議員から岸啓祐議員に変更されました。

### 議席の変更

また、12月10日、岸啓祐議員から中野敏浩議員に変更されました。

12月2日、議席を次のとおり変更しました。

村山 博紀議員 第4番  
川目 武彦議員 第11番

### 沖縄県民の気持ちに寄り添うことを求める意見書

下記の意見書を、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、国土交通大臣、防衛大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）宛てに送付しました。

沖縄県は、日本国内にある米軍専用施設面積の約70%が集中しており、戦時下から戦後、現在においても、大きな負担を強いられてきた経緯がある。

今まで実施されてきた県民投票の結果についての議論もし尽くされていない状況が続いているとともに、米軍による度重なる事故や事件により沖縄県民は不安と隣り合わせの生活を余儀なくされている。

また、令和元年10月31日未明に発生した首里城の火災により、多くの沖縄県民の心には大きな穴が空くとともに、深い悲しみの中にある。

国はこれまで沖縄県に対してさまざまな理解を求めてきた一方、沖縄県民には、さまざまな意見があ

りながらも結果として国の求めに応え続けてきた。沖縄県民が深い悲しみの中にいる今こそ、その負担の軽減につなげ、これまでの敬意と感謝を示すためにも、沖縄県民の気持ちに寄り添うべきときである。

本市議会は、右、沖縄県の状況を鑑み、同じく地方自治体の一つとして、国においても、沖縄県民の気持ちに対し真摯に寄り添うことを求める。

右、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月24日

川 越 市 議 会

### 障害者支援施設の大規模災害時における避難先の確保と施設再建・移転にかかる公的支援を求める意見書

下記の意見書を、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、環境大臣、内閣府特命担当大臣（防災）宛てに送付しました。

令和元年10月12日に川越市を襲った台風第19号は、川越市をはじめ周辺地域において堤防決壊や越水により未曾有の甚大な被害をもたらした。特に川越市においては寺尾地域の内水被害が、平成29年の台風第21号に続いて発生、市内の住家のみでも455件と大変大きな浸水被害となった。併せて今回の台風第19号では、予想できなかった越辺川の堤防決壊という重大な事態が発生することとなった。

この堤防決壊により周辺に施設を構えていた介護老人福祉施設、軽費老人ホームに加えて、障害者支援施設および関連の共同生活援助施設などが浸水の被害に遭遇し、現在も再建のめどが立たない状況の中、一時受け入れ先または避難所および保護者宅等に身を寄せている状況である。

特に、自閉症等の障害者施設に入居していた方々に関しては、障害の適応性の関係もあり、個別避難や分散避難などの一過性の対策は好ましい措置とはいえず、集団で避難できるような施設が求められるところである。

また、一時的に保護者の居宅に避難されている場合においても、保護者の高齢化などの諸条件の変化により、居宅での長期保護は困難な状況となっている。

特に近年の災害の発生状況や災害規模の増大化により、本市を含め同様の障害者施設を開設している全国の自治体においては、施設運営者から災害時の対応の構築が不可欠であると要望されるものと痛感している。

よって、本市議会は、左記のとおり、国に対し、障害者施設の入居者が集団で避難できる福祉避難所の確

保と、被災された障害者施設の入居者が一日も早く元の施設に帰ることができるよう、または、水害などの災害を回避でき、障害に支障のない、新たな施設に速やかに移転できるよう、災害に備え予算化を含めた法整備と対応策の構築を図ることを強く求める。

#### 記

- 1、障害者支援施設に避難準備・高齢者等避難開始が発令された際は、福祉避難所を通常の福祉避難所とは別に確保すること。
- 2、既存の障害者支援施設が災害により当面使用が困難になった場合には、国は速やかに代替施設の確保に向けて対策を講じること。
- 3、被災した障害者支援施設の再建に向けて、国は財政的な支援を特別に講じること。
- 4、被災した障害者支援施設に対し、国は必要に応じて、速やかに地元自治体と協議の下、代替用地の確保に向けて対策を講じること。
- 5、被災した障害者支援施設に入居していた者が一時的に保護者の元で生活する事態が生じた場合、
  - (1)保護者の生活状況を十分把握すること。
  - (2)障害者施設管理者に支払うべき支援費の支給は継続し、障害者が速やかに施設に戻る状態を確保すること。
  - (3)障害者が安心して日常生活を営めるよう地元自治体を支援すること。

右、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月24日

川越市議会

### 議会のミニ知識

### 議会運営委員会とは？

議会運営委員会とは、議会を円滑に進めるため、議会の運営に関するさまざまなことを協議することを目的に設置されています。

具体的には、本会議の会期や議事の日程、順序、議案等の審査方法、本会議の進行などを協議し、決定します。現在行っているインターネット中継や傍聴における手話通訳者の派遣を決定したのも議会運営委員会です。

また、現在、令和3年度に実施が予定されている議場の改修に向けた導入機能や設備の検討、議会改革についての協議を行っています。

委員の定数は10人、任期は議員の任期と定めています。

#### ○委員の構成

委員長	桐野 忠	副委員長	中原 秀文
委員	村山 博紀	委員	明ヶ戸亮太
委員	栗原 瑞治	委員	吉敷賢一郎
委員	今野 英子	委員	柿田 有一
委員	中村 文明	委員	高橋 剛



現在の議会運営委員

市議会からのお願い

公職選挙法により、議員の寄附行為は禁止されています。市民の皆さま方のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

みんなで守ろう「三ない運動」

議員は 有権者に 寄附を贈らない！

議員から 有権者への 寄附は受け取らない！

有権者は 議員に 寄附を求めない！

例えば、次のような寄附が禁止されます。

- × 地域の行事やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
- × お祭りへの寄附や差し入れ
- × 町内会の集会や旅行等の催し物への寸志や飲食物の差し入れ
- × 落成式・開店祝の花輪
- × 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝、香典
- × 入学祝・卒業祝
- × 病気見舞い
- × 葬式の花輪・供花



請願第2号

辺野古基地建設を中止し、普天間基地を即時無条件返還し、沖縄県の民意を尊重することを国に求める請願書

提出者 川越市鯨井1781-36

辺野古新基地問題を考える川越の会 代表 斎藤美紀子 ほか5492名

議場コンサート

12月2日、今定例会の開会日に議場コンサートを開催しました。今回は、平成30年度川越市人材発掘公開オーディションで選ばれた団体の一つである「Vario Saxophone Quartetto」により、「カプースチン作曲 演奏会用練習曲より 第1楽章」、「日本の四季メドレー」、「ボヘミアンラプソディー」の3曲の演奏が行われました。



※議場コンサートは、東京2020参画プログラムの認証を受けています。

今定例会の傍聴人数

傍聴券	No.
令和元年川越市議会第5回定例会	
合計88名の方が傍聴されました。	
開会日	25名
議案質疑	8名
一般質問①	6名
一般質問②	12名
一般質問③	4名
一般質問④	9名
最終日	24名

川越市議会

次回もお待ちしております

本会議の様子は、議場で傍聴するほか、下記によりご覧いただけます

- インターネット中継（ライブ、録画）
  - … 川越市議会ホームページ
- 今定例会の会議録（2月下旬頃から）
  - … ホームページ、図書館、市民センター、議会事務局、情報公開窓口（東庁舎）

点字版および音声版の議会だよりを発行しています。送付を希望する方は、議会事務局(049-224-6067)までご連絡ください。



発行 川越市議会  
編集 川越市議会広報紙  
編集委員会  
電話 049(224)6067

10月に発生した台風第19号において被災された皆さまが一日も早く元の生活に戻れるよう、心からお祈り申し上げます。令和元年第5回定例会では、台風第19号に関する被災者支援のための補正予算が議決、さらには議員提出議案として障害者支援施設への公的支援を求める意見書が全議員賛成のもと可決されるなど、川越市として復旧に向け大きく動き出した議会でもありました。広報紙編集委員会としても引き続き皆さまにご一読いただける紙面となるよう、議論を重ねてまいります。(明ヶ戸 亮太)

編集後記